

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-132152
(P2004-132152A)

(43) 公開日 平成16年4月30日(2004.4.30)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	ターマコード (参考)
E O 3 C 1/126	E O 3 C 1/126	2 D 0 6 1
E O 3 C 1/28	E O 3 C 1/28	Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願2002-331372 (P2002-331372)	(71) 出願人	500523744 株式会社クリーン・マット 長崎県長崎市田中町573番地3
(22) 出願日	平成14年10月9日(2002.10.9)	(72) 発明者	田中 勝幸 長崎県長崎市田中町573番地3 株式会社 クリーン・マット内
		Fターム(参考)	2D061 DD04 DD13

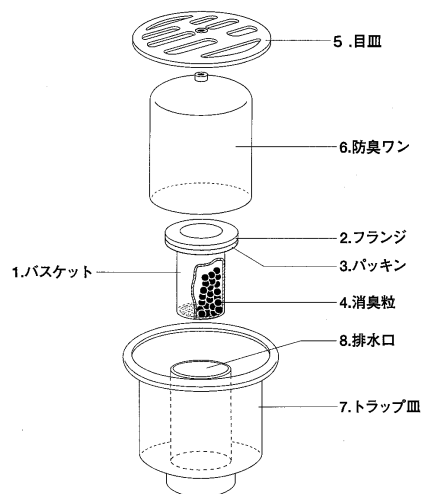
(54) 【発明の名称】 ワントラップの消臭バスケット

(57) 【要約】

【目的】 この発明はトイレや洗面所などの床面に設置される水封防臭式ワントラップ型排水機構における、悪臭の逆流や排水口の詰まりなど、特に環境的に不潔になりやすい汚染箇所の環境向上を目的とし、水封防臭式ワントラップの排水口に消臭粒を入れたバスケットをセットして、ダブルで環境汚染を保持しようとするワントラップの消臭バスケットに関するものである。

【構成】 トイレや洗面所などの床面などに設置される水封防臭式ワントラップ型排水機構において、ワントラップ内の排水口8に消臭粒4を入れたバスケット1をセットして二重の防臭機構とした基本構成である。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トイレや洗面所などの床面などに設置される水封防臭式ワントラップ型排水機構において、ワントラップの排水口 8 に挿入できるサイズで底のみが網目状や多孔状の筒型のバスケット 1 の上部外周にフランジ 2 を有して、その下面に密閉用の防臭パッキン 3 を有した構造のバスケット 1 内に固形の消臭粒 4 を入れた消臭バスケットを水封防臭式ワントラップに組み合わせた構成を特徴とするワントラップの消臭バスケット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明はトイレや洗面所などの床面に設置される水封防臭式ワントラップ型排水機構における、悪臭の逆流や排水口の詰まりなど、特に環境的に不潔になりやすい汚染箇所の環境向上を目的とし、水封防臭式ワントラップの排水口に消臭粒を入れたバスケットをセットして、ダブルで環境汚染を保持しようとするワントラップの消臭バスケットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、トイレや洗面所などの床面に設置される水封防臭式ワントラップ型排水機構はワントラップの単体構成であり、環境的や作用的や管理的に問題が発生した場合の補助的安全保持機能などは施されておらず、特に防臭機構の補助機能的技術は開発されていなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

従来トイレや洗面所の水封防臭式ワントラップ型排水機構は補助的安全保持機構が施されていないため次の課題があった。

(イ) ワントラップ排水機構は水封式防臭方式であるため、水が無くなった場合には防臭機能や防虫機能を果たさなくなり、特にトラップ皿の水溜部は上部が開口域であり蒸発による乾燥を促進させるし、また水溜まり域のトラップ皿は構造的にもゴミなどの汚れが溜まりやすい部分であり、床面のゴミなどの異物が集積蓄積され溜まり水量を減少させており、乾燥作用により拍車をかけることになり問題であった。

(ロ) 長期間や悪環境での設置によりワントラップの腐食、特にトラップ皿の腐食により水漏れが発生して水封機能がなくなるため、防臭機能や防虫機能を果たさなくなり問題であった。

(ハ) トラップ皿に床面のゴミなどの異物が集積蓄積されているため防臭ワゴンが正規にセットされず防臭機能や防虫機能が発揮されていない。

(ニ) ワントラップ排水機構は構造的にもトイレなどの床面のゴミなどの異物が溜まりやすいためワントラップ部や排水口が詰まってしまう、ワントラップの詰まりについては開放しての清掃が可能であるが、排水口や排水管の詰まりは修復が困難で非常に問題であった。

(ホ) 水封式ワントラップ排水口の機構や作用などを理解する人も少なく、水の補給を滞るなどの人為的、管理的問題も多かった。

【0004】

【問題を解決するための手段】

いまその課題を解決するための構成を図面により説明すれば、

(イ) トイレや洗面所などの床面などに設置される水封防臭式ワントラップ型排水機構において、ワントラップ内の排水口 8 に消臭粒 4 を入れたバスケット 1 をセットして二重の防臭機構とした基本構成である。

(ロ) ワントラップの排水口 8 に挿入できるサイズで底のみが通排気や通水が可能な網目状や多孔状の筒型のバスケット 1 の上部外周に排水口 8 上面に接合用のフランジ 2 を有して、その下面に密閉用の防臭パッキン 3 を有した構造のバスケット 1 内に活性炭や各種セ

10

20

30

40

50

ラミックや各種鉱石や各種加工剤など固形の消臭粒 4 を入れた構成とする。

【 0 0 0 5 】

【作用】

次に本発明の作用を述べると、

(イ) トイレなどの床面の清掃などで水洗いした水やゴミなどの異物は目皿 5 を通って防臭ワン 6 よりトラップ皿 7 に溜まり、溢れる水は排水口 8 にセットされているバスケット 1 の消臭粒 4 を通って排水される作用である。

(ロ) バスケット 1 の消臭粒 4 を通った水はゴミなどをある程度浄化されており排水管の詰まり防止に作用します。

(ハ) 排水管内部から逆流する臭気はバスケット 1 のフランジ 2 と防臭パッキン 3 により密閉されるためバスケット 1 の底から消臭粒 4 を通るため消臭される作用であり、トラップ皿 7 に水が無い場合でも有効に作用します。

10

(ニ) バスケット 1 内の消臭粒 4 は定期的に交換する作用である。

【 0 0 0 6 】

【発明の実施の形態】

具体実施例を述べる、

(イ) 排水口 8 上面と防臭パッキン 3 とフランジ 2 とを接着し密閉性を向上させる構成とする。

(ロ) 消臭粒 4 を網袋などに入れ袋ごとバスケット 1 内に入れ、交換も袋ごと一括して行う。

20

(ハ) 消臭粒 4 を芳香粒とする場合もあるし、また消臭、芳香の兼用粒の場合もある。

(ニ) 既存のワントラップの排水口 8 へバスケット 1 をセットしてダブルの防構造とする。

【 0 0 0 7 】

【発明の効果】

二重の防臭、防虫作用により、より安全で快適な環境を保持できます。

具体的効果を列記すれば、

(イ) 従来ワントラップ排水機構は構造的にも乾燥しやすいし、ゴミなどの異物が溜まりやすい構造であるため水封式防臭、防虫機構としては未だ不十分であったが、ワントラップのバスケット 1 を排水口 8 にセットすることによりストラップ皿 7 の水が乾燥して水封機能が無くてもバスケット 1 内の消臭粒 4 により防臭効果をなすものです。

30

(ロ) 既存ワントラップ排水機構の排水口に追加してセットできるため容易に、且つ安価で二重での防臭効果を高めることができます。

(ハ) 排水口 8 にセットしたバスケット 1 の消臭粒 4 によりゴミなどの異物もバスケット 1 内に保持されるため排水口や排水管の詰まりを削減します。

(ニ) ワントラップが腐食して機能を喪失した場合においても、排水口 8 にセットしたバスケット 1 により防臭効果を保持することができます。

(ホ) ワントラップの消臭バスケットは、ワントラップ排水機構における防臭作用の補助的作用と二重の安全保護作用をなすものです。

【 0 0 0 8 】

40

トイレや洗面所などの環境的に汚染されやすい場所において、防臭作用の二重安全機構を確立できるため、汚れやすい場所の生活環境を向上させ、清潔感のある明るく楽しい社会づくりに大きく貢献するものであります。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一部断面図を含む斜視図

【図 2】本発明の中央断面図

【符号の説明】

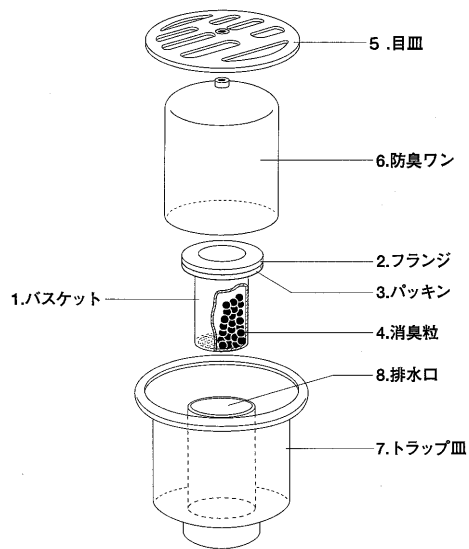
1 はバスケット 2 はフランジ
3 は防臭パッキン 4 は消臭粒
5 は目皿 6 は防臭ワン

50

7 はトラップ皿

8 は排水口

【 図 1 】



【 図 2 】

